

日本遺産を紹介 写真カレンダー

菊池川流域協が制作

菊池、山鹿、玉名、和水の4市町でつくる菊池川流域日本遺産協議会は、菊池・溪谷（菊池市）など構成文化財を紹介する2024年の写真カレンダーを制作した。流域の物産館や観光協会で販売する。

協議会は、流域の魅力を発信しようと初めてフォトコンテストを開催。昨年12月から7月まで419点の

応募があり、受賞作12点を月めくりカレンダーにした。「どの写真からも心から湧き上がる流域への思いが感じられた」と審査員長の甲野善一郎・崇城大芸術学部准教授。

A3判。芝居小屋「八千代座」（山鹿市）を舞台側から撮ったグランプリ作や、星空と竜門ダム（菊池市）、貨物列車の明かりが

照らす高瀬船着場（玉名市）、水が勢いよく流れ落ちる白石堰（和水町）などが掲載されている。

千部を1部500円で販売。制作を担当した菊池市の観光振興課は「流域の素晴らしい遺産を知ってもらおうきっかけになれば」と話している。

（本田清悟）